

# TMS の [Behind Firewall] 設定とは何ですか。またそれを [Reachable on Public Internet] の代わりに使用するのとはなぜですか。

## 内容

### 概要

[TMS の \[Behind Firewall\] 設定とは何ですか。またそれを \[Reachable on Public Internet\] の代わりに使用するのとはなぜですか。](#)

### 関連情報

## 概要

この記事は Cisco TelePresence Management Suite に関連しています。

**Q. TMSの[Behind Firewall]設定とは何ですか。また、[Reachable on Public Internet]の代わりにこれを使用するのはなぜですか。**

**A. この設定を検索するには、次の手順を実行します。**

1. [Systems] > [Navigator] に移動し、設定するエンドポイント/システムを選択します。
2. [Connection] タブをクリックします。
3. [System Connectivity]設定には、次の4つのオプションがあります。アクセス不可LANで到達可能パブリックインターネットで到達可能ファイアウォールの背後

システムがパブリックインターネット上で到達可能として設定されている場合、TMSはファイアウォールやNATルータによってブロックされることなく接続できると想定します。

[Behind Firewall]オプションを使用すると、自宅やSOHOのセットアップで一般的なファイアウォールやNATルータの背後にあるデバイスなど、TMSが直接接続できないサポート対象デバイスでTMSを動作させることができます。

ファイアウォールの背後で設定されたシステムは、他のシステムと同様のアクティビティについてTMSにフィードバックを送信しますが、保留中のコマンドを実行するためにTMSをポーリングします。このため、[ファイアウォールの背後(Behind Firewall)]に設定されたシステムへの変更はすぐには有効になりませんが、システムが次にTMSに接続するときに適用されます ( 15分ごと )。

## 関連情報

- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。